（事業計画書様式１）

1　概要

公園名	岸根公園
所在地	港北区岸根町 725
公園面積、公園種別	140,587 ㎡　運動公園
主な施設	野球場（1 面）、少年野球場（1 面）、芝生広場、池、 駐車場（157 台）
特徴	昭和 15 年に防空緑地を兼ねた総合運動場施設を持った公園として計画されたが、戦時中に整備中断。戦後は米軍に接収され、昭和 45 年に部分解除により整備を再開。昭和 46 年に一部竣工、運動公園として公開。昭和 48 年に全面接収解除により新たな整備計画を立て、軟式野球場、芝生広場、運動広場等を整備。災害対策用備蓄を設け、広域避難場所にも指定されて全面開園。園内に県立武道館がある。
公園開園日	昭和 46 年 4 月 1 日

2　指定管理者概要

指定管理者名	公益財団法人　横浜市緑の協会
代表者名	理事長　上原 啓史
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 58
指定管理期間	平成 31 年 4 月 1 日から平成 35 年 3 月 31 日まで
現指定管理者管理運営開始日	平成 21 年 4 月 1 日から
他に指定管理者に指定されている公園（市内外問わず）	山手公園・元町公園・港の見える丘公園内の 2 施設・山手イタリア山庭園（JV）、三ツ沢公園（JV）、馬場花木園、横浜市こども植物園・横浜市児童遊園地、俣野公園（JV）、俣野別邸庭園、海の公園、長浜公園（JV）、富岡総合公園（JV）、野島公園、よこはま動物園、野毛山動物園・野毛山公園、金沢動物園・金沢自然公園

（事業計画書様式２）

1　公園運営の全体的な考え方

岸根公園の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン（管理期間中の目標）の達成に向けた着実な管理運営に取組みます。

（公園の特性）

①利便性と集客力の高い公園、②市の重要な防災拠点として位置づけられている公園、③市民活動や企業 CSR 活動が盛んな公園、④シンボルツリーによる美しい景観を持つ公園

（ビジョン）

「次の世代へつなぐ！みんなで憩える公園づくり
　～開園 50 周年を地域とともに祝い、さらなる１歩を踏み出します～」

私たちは、開園 50 周年を市民と共有するとともに、これを一過性のものとせず、次の 50 年を目指し、地域に末永く愛される公園へと発展させていくことをビジョンに掲げます。

2　本年度の基本的な管理運営方針

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた４つのミッション（果たすべき役割）に取組みます。

（基本的役割）

・社会情勢の変化やそれに伴い公園に求められる役割の理解
・公園の公平・公正な管理運営、安全・安心の確保、公共施設管理の基本的役割の担保
・多様な主体との連携と民間ノウハウ活用による高品質なサービス・維持管理の実現

（ミッション）

①【協働】誰もが集い、活躍する公園づくりによる活気ある市民参加・市民協働の場
②【安全】安全・安心な公園環境の維持で、“日常から災害時まで頼られる岸根”
③【サービス】各種サービスの拡充による様々な利用者が楽しく過ごせる場
④【緑】岸根を象徴する景観と環境学習の機会の提供

3　運営業務の実施方針

私たちが掲げる上記のミッション達成のために、実施方針を次のとおりとします。

ミッション①　今後も一層の市民協働を盛り上げます。

【重点事業】・50 周年を地域とともに祝うイベントの開催
・ボランティア活動、企業 CSR 活動の支援強化
・岸根公園感謝 DAY の継続開催

ミッション②　園内の安全確保、防災拠点としての役割を担います。

【重点事業】・市民参加型防災訓練などの実施　・地域防災拠点運営会議への参加
・安全性の向上(自転車走行、犬の散歩などマナー向上)

ミッション③　子育て世代を中心に利用者サービスを拡充します。

【重点事業】・オープンエアレストハウスの設置　・子育て世代へのサービス拡充
・野球場利用者のサービス拡充

ミッション④　魅力を高める植物管理と自然に触れ合う取組みを増やします。

【重点事業】・ガーデンネックレス横浜 in 岸根（花壇づくり、植樹など）
・シンボルツリーなど美しい景観の保全と発信
・芝生広場を活かした岸根フィットネスプラザの展開

4　人員・組織体制

(1) 組織体制

・園長の統括のもと、各スタッフが専門性を活かせる機能的な公園の管理体制を整えます。
・本部は、専門・技術的指導と業務支援を行います。「巡回作業班」を設置し、園地管理作業の支援と技術継承を行います。
・これまで構築した地域団体との信頼関係をさらに深め、地域に根差した管理を行います。

(2) 人員配置

・園長は公園管理の統括を行う施設長、副園長は園長を補佐するとともに園長不在時の統括代行を行う副施設長とし、一方または両方が勤務し、現場を適切にマネジメントします。
・運営・園地管理スタッフがそれぞれの業務に専念できる体制とするために、有料施設の受付は専任のパートを配置します。
・専門性を活かした管理を行うために、園地の維持管理に専任スタッフを配置し、全体を調整・統括する園長のもとで業務を行います。
・園長は防災士、全スタッフは上級又は普通救命講習を修了します。

(3) 人材育成

・「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組みます。
・研修は、①利用者対応・管理運営、②園地管理、③園長・副園長のマネジメント力向上に関する各種研修を実施します。
・目標管理制度、職員表彰制度により、スタッフの意欲向上を図ります。

平成 31 年度人員配置表

職名	雇用	人数	職務内容	勤務日
園長(施設長)	職員(常)	１名	公園管理統括、事業・予算管理	週５
副園長(副施設長)	職員(常)	１名	統括補佐、運営業務	週５
園地スタッフ	職員(常)	２名	巡視・点検、清掃、植栽・園地管理	週５
	パート(常)	４名		週４
受付スタッフ	パート(非)	３名	有料施設の受付	週 2.4
夜間スタッフ	パート(非)	２名	有料施設の夜間対応 ※冬期休場期間除く	週 3.5

※（常）は常勤、（非）は非常勤

勤務体制等

・５～９名の勤務体制を基本とします。大規模作業やイベント開催時は増員体制とします。
・電気主任技術者業務はスタッフの指導監督のもと、委託対応。
・常勤とは、１週間の所定労働時間（週 38.75 時間）の 3/4（週 30 時間）以上とします。

5　市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

(1) 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

ア 誰もが集い、活躍する公園づくりによる活気ある市民参加・市民協働の場

・市民団体や近隣学校と協働して「岸根公園感謝 DAY」を開催
・市民参加で園内の落葉やゴミなどを拾っていただく「パーク・クリーンデー」を開催

イ 安全・安心な公園環境の維持で“日常から災害時まで頼れる岸根”

・市民参加型の防災訓練など安全・安心のための各種啓発活動を実施
・公園の安全な利用のための取組みを実施

ウ 各種サービスの拡充による様々な利用者が楽しく過ごせる場

・子育て世代を中心とした家族向けサービスを拡充
・野球場利用者向けのサービスを拡充

エ 岸根を象徴する景観と環境学習機会の提供

・「ガーデンネックレス横浜 in 岸根」として花壇づくりなどを行い、植物の魅力を発信
・シンボルツリーなど園内の動植物を活用した展示や観察会の実施
・芝生広場を活かした「岸根フィットネスプラザ」を展開

(2) 市民サービス向上取組の考え方

・前項(1)ウの考え方に基づき、幅広い世代の利用者が快適に過ごせる取組みを実施
・その他、快適な公園利用を支える接遇向上やバリアフリー推進など基本サービスの提供

(3) 利用促進の取組・利用者支援等の取組について

本様式５を基に、提案事項を実施します。

(4) 課題に対する公園運営改善策

ア 芝生広場の活用方法や利用ルールなどに関する提案

・前掲(1)エ「岸根フィットネスプラザ」を展開（詳細は事業計画書様式５に記載）
・芝の状況に応じた芝張りなどによる表土の流出防止など、広場の適正な管理
・学校などの遠足利用時のトラブル防止と安全確保のため、遠足台帳による利用状況把握
・愛犬マナーアップ運動によるマナー向上の取組（詳細は事業計画書様式５に記載）
・その他、だれもが楽しく遊べるための、迷惑行為や危険行為への丁寧な説明や指導

イ 篠原池の安全対策及び活用に関する提案

・大雨前後の巡視清掃、池への立入りほか危険行為への指導など、池の安全管理の徹底
・ガマの穂刈りによる穂綿飛散防止など、適正な水辺の修景管理による美観維持
・生物多様性について学べる生き物観察会や展示の実施

ウ 園内の自転車通行対策に関する提案

・自動車交通安全教室の開催や近隣小学校へのポスター掲示などによるマナー啓発活動

(5) 広報・パブリシティ活用の取組み

・広報、情報発信は、ホームページ・ＳＮＳ、独自の発行の広報紙、「広報よこはま」、プレスリリースや取材対応等によるパブリシティ活用、近隣地域・施設との相互ＰＲ、近隣学校へのチラシ配布、公園だより等の手段により行います。また、ホームページはスマートフォンに対応し、情報発信力を強化します。

(6) 利用者ニーズ把握の取組み

・ホームページの広聴システム、「あんなこんな提案箱」等によりニーズを把握し、公園管理レベルの向上に取組みます。
・利用者の満足度の把握は、年１回の対面式アンケートにより把握し、満足度向上に取組みます。また、アンケート結果は公表します。

（事業計画書様式３）

1　公園の維持管理業務の全体的な考え方

・これまでの管理経験を通じて把握した地域・利用者の意見や、公園の利用実態、安全上の注意事項などを含む公園の特特長を反映した計画的な維持管理を行います。また、維持管理作業は「年間作業計画表」を基に作成する「月間作業計画」に基づき実施し、ＰＤＣＡサイクルにより改善を図ります。
・特に建築物や遊具などの施設は、市の定める「公園施設マニュアル」に基づく定期点検などのほか、当団体独自作成の「点検チェックシート」による毎月の点検によって健全度を確認し、予防保全型の計画的な修繕を行うことで施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減します。また「点検チェックシート」は管理詰所内に掲示し、点検状況を見える化し、スタッフの意識向上に加え、利用者へ安心を提供します。

2　公園施設の維持管理について

(1) 公園内の工作物の維持管理方法

＜主な施設と維持管理方法の例＞

ア 野球場

・日常整備
　会場前の清掃、ライン引き、不陸整正、照明の点検試験、安全確認
・定期整備
　不陸整正・転圧、排水溝清掃、草刈り、付帯施設の保守点検
・冬期整備
　グラウンドレベル測定、耕耘・転圧、マウンド整備など全面的な整備

イ 少年野球場

・地元管理運営委員会と緊密な連携のもと、快適な利用環境を確保
・地元管理運営委員会と管理上の運営分担について、確認書を取り交わす。

ウ 遊具

・市の基準に基づく日常点検、定期点検のほか当団体独自に月１回の定期点検を実施
・日本公園施設業協会の遊具点検研修を受講したスタッフが定期点検を実施
・耐用年数を考慮しながら、定期点検で劣化状況を把握し、消耗部材の交換、塗装などを実施
・特に複合遊具、大型遊具は、基礎やネット、チェーンなどの摩耗や異常などを重点的に点検。着地面や周囲の異物、支障枝の有無など遊具周辺にも注意
・異常、破損など発見時には直ちに応急処置や利用禁止措置を実施

エ 管理詰所

・日常点検・定期点検の他に、年１回の施設管理者点検マニュアルに沿って点検を行い、不具合発見時は速やかに対応・報告を実施
・建物の状態を適宜、市に報告・情報提供を行い、管理者として今後の管理・改修・補修計画を提案

(2) 公園施設・設備の維持管理方法

・ベンチ、水飲み、フェンスなど公園内の工作物について、点検により異常を把握し、適切な修繕を実施するとともに、必要に応じて使用禁止措置などを実施

3　園地管理について

(1)巡視・点検方法
・日常巡視・点検は、１日２回実施
・定期点検は、市公園施設点検マニュアルに基づき年３回の通常点検、年１回の詳細点検を実施。また、独自に作成したチェックシートをもとに、月１回実施

(2) 植栽の維持管理

ア 園内に植栽された樹木やエリアの特性に合わせ、適切な維持管理作業を実施

＜主なエリアと樹木の維持管理例＞
・中央広場ケヤキ：アーチ状の枝ぶりで来園者を迎える景観を創出
・ひょうたん原っぱユリノキ：シンボルツリーとしての保存継承を目的に、異常発見時は樹木医による診断・指導をもとに管理
・せせらぎ広場プラタナス：利用者への緑陰提供のため、自然樹形を保つ剪定などを実施

イ 植栽の健全な育成に向けた取組み
・通常配置の職員のほかに、各公園を巡回して植栽管理などを行う巡回作業班を適切な時期に派遣し、剪定や刈込、草刈りなどを実施
・エリアごとの景観形成や健全な育成に配慮した間伐・剪定など個別樹木の育成管理について、樹木医会と連携し適宜指導や助言を受けて実施
・環境に配慮した植物の維持管理として、落ち葉の堆肥化による資源循環や、篠原池の生物保護区では、草刈り時期や範囲を調整し、一部刈り残しや保護区域内への不要な立ち入りを行わないなど、生態系に配慮して作業を実施

4　事故防止の取組、過去に発生した事故の改善策

(1) 過去に発生した事故の改善策
・園地の特長や危険箇所の情報を記載した独自の「公園ハザードマップ」と、これに基づく「巡視ルート図」を活用し、細やかな巡視・点検を徹底します。また、過去の点検結果や修繕履歴を参照し、事故の防止に努めます。

(2) 作業時の安全確保
・園地や公道、民家沿いの草刈り作業は、飛散防止シート等を用いて養生
・カラーコーンや作業案内板の設置等により作業エリアを明確化し、作業者以外の立ち入りを防止
・管理用車両は、必ず通行許可証の掲示とハザードランプの点灯を行い、徐行による安全運転を徹底するほか、必要に応じ誘導員を配置

(3) 作業者の安全確保
・安全帯、ヘルメット、ゴーグルなどの安全装備を徹底
・作業者には、機器の取扱いに必要な特別教育、安全衛生教育を実施
・塩分、水分補給や休憩など、熱中症対策を指導

5　清掃、修繕、施設設備改修

(1) 清掃
・利用者に快適な利用環境を提供するため、日常的な清掃のほか大雨や落葉時、台風後、汚損などの状況に応じた臨時清掃を実施

(2) 修繕
・故障や事故などにより修繕が必要な場合には、「現状確認→応急処置→修繕方法の検討・協議→修繕の実施」の流れで迅速・適切に対応
・定期点検の結果で、今後修繕が必要と判断されたものは予算化を行い、優先度の高いものから計画的に修繕を実施

（事業計画書様式４）

1　緊急時の対応、緊急時マニュアルの活用、各区防災計画との連動等

・災害に備え、横浜市防災計画などに基づく、「災害対応マニュアル」を整備し、災害の状況に応じた配備体制を構築
・災害以外にも、事件・事故、重大な施設故障などに備え、市、警察、消防のほか、緊急対応事業者の連絡網を整備し、迅速に対応
・区と「災害時等における施設利用の協力に関する協定」を締結するなど、協力関係を構築（区との協議結果に応じて変更あり）
・展望広場区の一部が「土砂災害警戒区域」に指定されているため、大雨、大雪警報が発令された際には、臨時巡視を実施。異常発見時は直ちに危険箇所の立入禁止措置をとり、市に速やかに連絡
・篠原池の増水に警戒し、必要に応じて桟橋の利用を禁止

2　災害対応について

岸根公園は災害時、広域避難場所、物資集配拠点、飛行場外離着陸場としての役割を果たします。そのため今年度は、スタッフの啓発として、情報受伝達、非常時参集、防災訓練といった各種訓練を実施するほか、情報収集・伝達手段の確保のため、災害時優先電話の配備、業務用携帯電話への市防災メールの登録、緊急地震速報自動放送システムの整備を行います。

（配備機材一覧）

職員用食糧・飲料水（3 日分）、携帯トイレ、カラーコーン、土のう、発電機、懐中電灯、手回し式ラジオ、ヘルメット、自転車、救護用品、汚物処理キットなど

3　犯罪や路上駐車等の不法行為対策について

・犬のノーリード：ペットのマナー教室、ペットの防災教室などの開催によるマナー向上
・園内の自転車通行：自転車交通安全教室の開催、近隣小学校へのポスター掲示などの啓発活動、スピードを出した自転車走行への声掛け、注意看板設置など
・違法駐車：土日祝日の警備員配置、満車時の周辺駐車場の案内チラシ配布、県立武道館との連携による公共交通機関利用の呼び掛け、少年野球場の管理運営委員会と連携による注意喚起
・その他危険行為：バットや硬球を使ったキャッチボール、ドローンの利用、ゴルフの練習など周囲に危険を及ぼす行為については、利用指導を行うほか、必要に応じて禁止看板の設置

4　個人情報保護について

・個人情報の保護に関する法律、横浜市個人情報の保護に関する条例に準じ、個人情報保護方針、個人情報保護規程を整備しています。収集した個人情報は、これらに沿って、適切に管理し、マイナンバーは、特定個人情報取扱規程に則り、適切に管理します。
・全スタッフには、必ず年１回の個人情報保護研修を実施し、実績を市に報告します。なお、業務を委託する場合は、同水準の管理を徹底します。

5　障害者差別解消について

市の「障がい者差別解消の推進に関する取組指針」を実践できるよう人権啓発研修のテーマに障害者差別解消を取り入れます。また、広報研修ではカラーバリアフリー、ウェブアクセシビリティの対応方法について教育します。さらに、当協会のホームページにおいて、ウェブアクセシビリティ適合レベルＡＡへの準拠に向け（平成 31 年度末）、ホームページ改修等を進めます。

６　運営目標

目標設定の視点	運営目標	目指す管理指数・数値	今後の取組(展望)
業務運営１（達成目標、運営業務の実施方針）	ビジョン「次の世代へつなぐ！　みんなで憩える公園づくり ～開園50周年を地域とともに祝い、さらなる１歩を踏み出します～」の実現のため、４つのミッションに取組みます。 ①誰もが集い、活躍する公園づくりによる活気ある市民参加・市民協働の場 ②安全・安心な公園環境の維持で、“日常から災害時まで頼れる岸根” ③各種サービスの拡充による様々な利用者が楽しく過ごせる場 ④岸根を象徴する景観と環境学習の機会提供 なお、各事業の実施においては、地域の皆様のご協力を得ながら、満足度の高いイベントを目指します。	①市民協働活動　年500人以上 ②重大事故ゼロに向けた啓発活動　年10件以上 ③利用者アンケートの満足度の「満足」の向上（※初年度の満足度を基準として満足度の向上を目指す） ④自然を知って学んで体験する取組　年18件以上	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実
業務運営２（利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上）	上記ミッションに基づき、以下の事業を実施します。 ①-1 市民団体や近隣学校と協働で「岸根公園感謝DAY」開催 ①-2 市民参加で落葉やゴミ拾いイベント「パーク・クリーンデー」開催 ②市民参加型の防災訓練など安全・安心のための各種啓発活動を実施 ③-1 子育て世代を中心とした家族向けサービス拡充 ③-2 野球場利用者向けのサービス拡充 ④-1「ガーデンネックレス横浜 in 岸根」プロジェクトにより植物の魅力発信 ④-2 シンボルツリーなど園内の動植物を活用した展示や観察会の実施 ④-3 芝生広場を活かした「岸根フィットネスプラザ」を展開	以下の種類の事業を実施する。 ①-1：１種 ①-2：１種 ②：10種 ③-1：７種 ③-2：６種 ④-1：６種 ④-2：６種 ④-3：５種	同上
業務運営３（人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応）	①施設長(園長)、副施設長(副園長)他、有料施設の受付など提案人員を配置 ②園長は、防災士取得、全スタッフは上級又は普通救命講習を修了 ③災害対応マニュアル・緊急連絡網の配備 ④情報受伝達、非常時参集、防災訓練の実施 ⑤災害時優先電話、資機材の配備	①提案人員の配置 ②資格取得、講習修了 ③配備の完了 ④訓練の実施 ⑤配備の完了	同上
人材育成研修実施効果等	提案した研修を次のとおり実施します。 ①利用者対応、個人情報、管理運営に関する研修 ②園地管理に関する研修 ③管理職研修	①９種 ②５種 ③４種	同上

維持管理１（施設の保守管理、補修計画）	事業計画書様式 3-2-（1）（2）に記載した整備、点検を実施（ここでは項目のみを記載） ①野球場 ②少年野球場 ③遊具 ④管理詰所 ⑤公園施設・設備の維持管理方法	・本様式 3-2-(1)(2)に記載した整備、点検回数、その他維持管理水準を目安とする。	同上
維持管理２（清掃、園地維持管理、災害対応）	・事業計画書様式 3-3～5 各項目に記載した施策を実施（ここでは項目のみ記載） 3-3 （1）巡視・点検方法 （2）植栽の維持管理 3-4 （1）過去に発生した事故の改善策 （2）作業時の安全確保 （3）作業者の安全確保 3-5 （1）清掃 （2）修繕	・事業計画書様式 3-3～5 各項目に記載した施策を実施（回数が明記してあるものはその回数）、その他は維持管理水準を目安とする。	同上
収支（修繕等、収入、支出）	①提案時の収支計画に基づき、予算執行を実施 ②修繕予算は提案書に基づき、2,000 千円を計上 ③利用料金は、現行の料金を基本とする。	①着実な収支管理による収支均衡以上 ②2,000 千円 ③野球場： 2 時間 2,600 円 野球場照明： 1 時間 5,300 円	提案時の計画に基づく、適切な収支管理に取組む
経費節減策	①電力入札等による経費節減 ②園地管理用資材、消耗品等の一括発注	①４月１日から電力供給契約を開始 ②消耗品等の経費節減の推進	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施

※利用料金設定

・野球場：１コマ２時間 2,600 円（１時間あたり 1,300 円）

・野球場照明設備：１時間 5,300 円（30 分あたり 2,650 円）

（事業計画書様式５）

提案事業実施計画一覧（無料自主事業含む）

事業名	内容（募集人数・一人当たりの参加費）	新規	実施時期	回数
岸根公園感謝ＤＡＹ	市民団体や近隣学校などの協働により、飲食物や制作物の販売、音楽などの発表会、ＡＥＤ体験などを実施（別途実費相当の物販売上あり）		11 月	1
パーク・クリーンデー	利用者参加型の園内清掃イベントを開催	○	通年	随時
市民参加型防災訓練	幅広い防災学習プログラムで市民参加型の防災訓練を実施（港北消防署と連携予定）		11 月	1
地域防災拠点運営委員会への参加と連携強化	六角橋中学校を避難場所に指定された地域の委員会に参加し、緊急時の連携を強化		通年	随時
自転車交通安全教室（チリリンスクール）	自転車の安全な乗り方を学び、危険走行抑止とマナー向上を啓発（神奈川県警と連携予定）	○	秋	1
ペットのマナー・防災対策教室	災害時のペット同伴避難を学ぶ防災教室やマナー教室を開催	○	秋	1
愛犬マナーアップ運動	グッズ配布（マナーアップ缶バッジや糞の処理袋など）によりマナー向上を促進）	○	秋	1
子ども向け遊具の使い方教室	大型複合遊具でケガをせず楽しく遊ぶ方法を学ぶ教室を開催		11 月	1
防犯教室	近隣保育園との協働により、連れ去りなどの犯罪に巻き込まれないよう学ぶ教室を開催（神奈川県警と連携予定）		秋	1
横浜市子ども安全の日放送	毎月１日、10 日に横浜市子ども安全の日の園内放送を行う		毎月１日、10 日	24
子ども 110 番の家登録	「子ども 110 番の家」に登録		登録済み	通年
オープンエアレストハウスの設置	管理詰所前の広場にベンチ・テーブルを設置し、憩える場を提供（土休日など）	○	６月設置予定	随時
管理詰所の「家族の情報センター化」	管理詰所内に子育て、防災、地域などに関する情報を掲示	○	通年	随時
授乳スペースの提供	会議室を未使用時に開放し休憩・授乳スペースを提供		通年	随時
おもちゃ・ベビーグッズ貸出	砂場セットやレジャーシート、ベビーカーなどを貸出		通年	随時
子どもが喜ぶ季節の装飾	お正月やクリスマスなど、四季折々の飾りつけを実施		通年	8
紙芝居おじさん	ボランティアにより、毎月紙芝居イベントを開催		通年	11
トスベースボール大会の開催	低学年向けの野球大会を開催		春	1

野球グッズ貸出	野球をもっと楽しめるよう、スピードガンなどを貸出し	○	通年	随時
野球場無料開放サービス	野球場を利用する機会の少ない親子や子どものために、春・夏休みにキャッチボールができる日を設定	○	春・夏	2
障害者スポーツの紹介	東京オリンピック・パラリンピックを契機に、障害者スポーツを普及	○	通年	随時
市民とつくる寄せ植えポット	市民と一緒に寄せ植えポットをつくり、参加者のお名前やメッセージを添えて、管理詰所周辺に展示	○	秋	1
ガーデンネックレス花壇の設置	管理詰所前の植栽地を改修し、季節ごとの花修景が楽しめる花壇を作成	○	通年	随時
ガーデンネックレス横浜のＰＲ	市民協働による花壇づくりと花壇周辺でのガーデンネックレス横浜の会場案内・ＰＲなどで気運を醸成	○	通年	随時
グリーンカーテン	管理詰所にゴーヤなどのグリーンカーテンを設置		夏	1
区の木・花の紹介	港北区の木ハナミズキや神奈川区の木コブシの紹介板を設置	○	通年	随時
樹名・草名板の充実	園内植物の名称などを紹介する樹名・草名板を増設		通年	随時
園内植物を活用した工作教室	モミジバフウの実、マツボックリなど園内の植物を使った工作教室を開催		８月	1
カブトムシの展示	落ち葉の腐葉土で育てたカブトムシの飼育展示		夏	1
モツゴの展示	篠原池に生息するモツゴの飼育展示		通年	随時
野鳥写真の展示	市民が撮影した園内で観察できる野鳥の写真を展示		通年	随時
生き物観察会	篠原池を使っての生き物観察会、園内の樹木を活かしたセミの抜け殻探し体験などを開催（菊名エコクラブと連携）		夏・秋	1
落葉プール	子どもたちに落ち葉の感触などを楽しんでもらう体験		11 月	1
あおぞら親子体操教室	芝生広場で小さな子どもと保護者を対象に、親子が一緒に楽しめる体操教室を開催	○	秋	1
健康ウォーキングマップの作成・配布	園路を１周歩いたときの距離や消費キロカロリー、大人向け健康遊具の使い方を記載したマップを作成	○	夏～	随時
公園 de 健康づくりの紹介	横浜市環境創造局が作成する冊子を、当公園で紹介	○	通年	随時
大型インフォメーションボード設置による情報機能の拡充	管理詰所に大型インフォメーションボードを設置。開花・イベント情報などをわかりやすく掲示	○	夏～	随時
バリアフリーの推進	補助犬ステッカー、車いす貸出し、コミュニケーションボードを用意		通年	随時
市民から歴史資料の収集	公園整備前の米軍接収時代など、当時の写真や新聞記事などの資料を市民の皆様から募集	○	夏～	随時

提案事業実施計画一覧（有料自主事業含む）

事業名	内容（募集人数・一人当たりの参加費）	新規	実施時期	回数	自主事業予算額	
					総経費	収入
野球教室の開催	小学生を対象とした野球教室（参加料：10,000～13,000円予定）		4～11月	25	0円	480,000円
野球場冬期開場サービス	利用者からの要望に応え、冬期整備休場期間に野球場開場サービスを実施		冬	8	0円	70,000円
青空ヨガ	芝生広場で楽しく体を動かす機会を提供（25人@200円）	○	秋	2	10,000円	10,000円
ツリークライミング体験	園内の高木を使ったツリークライミング体験会を開催（20人@2,000円）	○	夏	1	70,000円	40,000円

（事業計画書様式６）

業務の第三者委託一覧

業務	内容	再委託会社	年回数	実施月	備考
自家用電気工作物 設備保安点検	高圧受電設備・負荷設備 ・照明設備の点検	30 年度中に 入札	12 回	毎月	
園内灯設備・夜間照明 施設保守点検業務	園内灯・夜間照明・ 時計設備の点検	30 年度中に 入札	1 回	未定	
放送設備保守点検業務	放送設備の点検	30 年度中に 見積り合わせ	1 回	未定	
消防設備保守点検業務	消防設備の点検	30 年度中に 見積り合わせ	2 回	未定	
便所清掃業務委託	園内・管理棟の便所清掃	Green Job Support	362 回	毎月	
夜間緊急対応業務委託	夜間の一次緊急対応	30 年度中に 見積り合わせ	随時	通年	
水景施設清掃業務委託	篠原池地下水槽の清掃	31 年度中に 見積り合わせ	1 回	未定	
池ポンプ清掃点検	篠原池循環ポンプの点検	31 年度中に 見積り合わせ	1 回	未定	
遊具精密点検業務委託	バスケットゴール等精密 点検が必要な遊具の点検	31 年度中に 見積り合わせ	1 回	未定	
乗用草刈り機年次点検	乗用草刈り機の保守点検	31 年度中に 見積り合わせ	1 回	未定	
園地管理業務委託	園内植栽の管理	横浜市グリーン 事業協同組合	通年	通年	
樹木診断・指導技術・ 樹勢回復治療	樹木医による樹木の診断 及び樹勢回復等	NPO 法人 自然への奉仕者 ・樹木医協力会	1 回	未定	
スズメバチ防除業務	スズメバチの巣除去	31 年度中に 見積り合わせ	1 回 (概算)	未定	
年末年始巡回警備業務	年末年始中の園内巡視	31 年度中に 見積り合わせ	6 日間	12～ 1 月	
一般廃棄物収集・ 運搬・処分業務	一般廃棄物の処分	30 年度中に 入札	50 回 (概算)	通年	
産業廃棄物収集・ 運搬・処分業務	産業廃棄物の処分	30 年度中に 見積り合わせ	2 回 (概算)	通年	

（事業計画書様式７）
収支予算書（指定管理料のみ）

（単位：円）

科目 収入の部	当初予算額 （A）	補正額 （B）	予算現額 （C=A＋B）	決算額 （D）	差引 （C－D）	説明	提案書費目
指定管理料	39,774,000	0	39,774,000	0	39,774,000		
利用料金収入	4,294,000	0	4,294,000	0	4,294,000		
自主事業収入	720,000	0	720,000	0	720,000		
雑入	0	0	0	0	0		
その他雑入	0	0	0	0	0		
収入合計	44,788,000	0	44,788,000	0	44,788,000		

科目 支出の部	当初予算額 （A）	補正額 （B）	予算現額 （C=A＋B）	決算額 （D）	差引 （C－D）	説明	提案書費目
人件費	20,355,000	0	20,355,000	0	20,355,000		
給与・賃金	16,528,000	0	16,528,000	0	16,528,000		人件費
社会保険料	2,256,000	0	2,256,000	0	2,256,000		人件費
通勤手当	1,499,000	0	1,499,000	0	1,499,000		人件費
健康診断費	72,000	0	72,000	0	72,000		人件費
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0		人件費
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0		人件費
事務費	2,242,000	0	2,242,000	0	2,242,000		
旅費	42,000	0	42,000	0	42,000		物件費
消耗品費	478,000	0	478,000	0	478,000		物件費
会議賄い費	0	0	0	0	0		物件費
印刷製本費	90,000	0	90,000	0	90,000		物件費
使用料及び賃借料	64,000	0	64,000	0	64,000		
（横浜市への支払い分）	0	0	0	0	0		物件費
（その他）	64,000	0	64,000	0	64,000		物件費
備品購入費	100,000	0	100,000	0	100,000		物件費
図書購入費	0	0	0	0	0		物件費
施設責任賠償保険	88,000	0	88,000	0	88,000		物件費
職員等研修費	91,000	0	91,000	0	91,000		物件費
振込手数料	0	0	0	0	0		物件費
リース料	1,286,000	0	1,286,000	0	1,286,000		物件費
手数料	3,000	0	3,000	0	3,000		物件費
地域協力費	0	0	0	0	0		物件費
自主事業費	720,000	0	720,000	0	720,000		自主事業費
管理費総合計	23,317,000	0	23,317,000	0	23,317,000	人件費、事務費、自主事業費の合算	
光熱水費合計	5,500,000	0	5,500,000	0	5,500,000		
光熱水費（電気）	3,210,000	0	3,210,000	0	3,210,000		光熱水費
光熱水費（ガス）	8,000	0	8,000	0	8,000		光熱水費
光熱水費（水道）	1,141,000	0	1,141,000	0	1,141,000		光熱水費
光熱水費（下水道）	1,141,000	0	1,141,000	0	1,141,000		光熱水費
清掃費	3,622,000	0	3,622,000	0	3,622,000	うち便所清掃委託料（障害者団体支援）3,622,000円	委託料・物件費
修繕費	2,000,000	0	2,000,000	0	2,000,000		修繕費
機械警備費	0	0	0	0	0	うち委託料 0円	委託料・物件費
施設保全費	9,508,000	0	9,508,000	0	9,508,000		
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	うち委託料 0円	委託料・物件費
消防設備保守	151,000	0	151,000	0	151,000	うち消防設備点検委託料 151,000円	委託料・物件費
電気設備保守	544,000	0	544,000	0	544,000	うち自家用電気工作物設備保安点検委託料 544,000円	委託料・物件費
害虫駆除清掃保守	15,000	0	15,000	0	15,000	うちスズメバチ防除業務委託料 15,000円	委託料・物件費
その他保全費・園地管理	8,798,000	0	8,798,000	0	8,798,000	うち園地管理業務など委託料 7,718,000円	委託料・物件費
共益費（合築等の場合）	0	0	0	0	0		物件費
公租公課	26,000	0	26,000	0	26,000		
公租公課（事業所税）	0	0	0	0	0		物件費
公租公課（消費税）	0	0	0	0	0		物件費
公租公課（印紙税）	20,000	0	20,000	0	20,000		物件費
その他公租公課	6,000	0	6,000	0	6,000		物件費
事務経費	100,000	0	100,000	0	100,000		
事務経費（本部分）	100,000	0	100,000	0	100,000	本部人件費等	その他の費用
事務経費（当該施設分）	0	0	0	0	0		その他の費用
その他経費（当該施設分）	715,000	0	715,000	0	715,000		物件費
支出合計	44,788,000	0	44,788,000	0	44,788,000		
差額	0	0	0	0	0		

（参考）指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	45,418,000	0	45,418,000	0	45,418,000		
設置管理許可支出合計	33,632,000	0	33,632,000	0	33,632,000		
差額	11,786,000	0	11,786,000	0	11,786,000		